

戦争法案ノ

いま言いたい

あまり政治的なことに口出ししない牧師が、このような欄に登場するのは、多くの人に「よっぽどの危機なんだ」と思っていたからだと思います。

だということもあるのでしょう、1年前から議長をやっています。

名古屋キリスト教協議会は、およそ100あるプロテスタント教会のほかに、YMCAや系列学校などの関連団体で構成され、立場の違いを尊重しています。私が最年長

協議会は今まであまり声明文をださないできました。しかし、安倍政権が集団的自衛権行使容認を閣議決定し、「戦争できる国」へ動きを強めているのを見て、声をださざるをえない段階に達したと判断し、5月21日付で議長・書記連名の「戦後70年に際しての声明」を安倍首相に送付しました。



言葉の力に頼れ

軍事力によって平和を実現しえないことは、世界の現実を見るなら明らか

よっぽどの危機なんです

名古屋キリスト教協議会議長 **松浦 剛** 牧師

かです。「積極的平和主義」というなら、軍事力や戦争協力によらず、力の論理によらず、平和を告げる言葉の力に頼り、信頼関係を築きあげていくべきでしょう。

っしやる方もいました。ぜひとも廃案に
安保法制案が衆院を通りましたが、国民はまったく納得していないと思いますよ。

国と国とが武力をもって対峙(たいじ)する戦争の時代はもはや過ぎ去りつつあります。現在の課題は各地で続発する局地的な紛争やテロリズムと向き合うことです。差別、貧困、人権の蹂躪(じゅうりん)、地球環境といった諸課題を根本から掘り下げ、解決していく知恵が求められています。平和憲法をもつ日本だからこそ、世界に貴重な貢献を果たさるるのではないのでしょうか。

各党のTVインタビューを見ていたら、共産党の志位委員長や社民党の吉田党首が強い口調で最大の危機感を表明し、必ず廃案にしようとの思いが伝わってきました。憲法9条を守るために、ぜひ野党は頑張ってほしいですね。

この声明は、7月の総会で承認していただきました。みなさんも同じ思いだったんでしょう。「大変勇気づけられた」とお

最近、ふつうの市民が立ち上がって意思表示をされています。宗教者も声明を発表したり、街角に立ったりすれば、「そこまで異常な状態なんだ」と思ってもらえるのではないかと期待しています。ぜひとも廃案にしましょう。

聞き手 今村一路